

ご使用にあたって

本製品をお使いいただく前にお手元のアルフレックス製品ユーザーズガイドをお読みください。

ユーザーズガイドをお持ちでない場合や、ご不明な点については、お買い求めの販売店もしくは下記フリーダイヤルにてアルフレックスジャパン カスタマーサービスまでご連絡ください。

ガラス棚板について

△警告 ガラス棚板はユニットに固定していません。掃除や置き物を移動する際は、必ず棚板に手を添えてください。棚板の落下によるけがや破損の原因になることがあります。

ドロワー（引出し）について

△警告 同時に複数の引出しを引き出さないで下さい。
収納物の重さで製品が転倒し、けがや破損の原因になることがあります。

ボックスの移設について

△注意 ドアボックスW.1000 H.1374/1710タイプを移設する際は、上下分割になっておりますので水平に移動するか、分割してから行ってください。

また、ユーザーズガイド、インストラクションを必ずご確認いただき、正しい方法で行ってください。

フラップドアについて

△注意 フラップドアは、既に調整がされており、そのままご使用いただけますが、不具合を発見された場合は、お買い求めの販売店もしくは下記フリーダイヤルにてアルフレックスジャパン カスタマーサービスまでご連絡ください。

LED照明について

△注意 不具合を発見された場合は、お買い求めの販売店もしくは下記フリーダイヤルにてアルフレックスジャパン カスタマーサービスまでご連絡ください。

株式会社アルフレックス ジャパン

カスタマーサービス ☎ 0120-33-1951

June 2011

CONDUCTOR INSTRUCTIONS

コンダクター 組み立て説明書

arflex

CONTENTS

コンダクター 組み立て説明書 目次

組み立て前にご確認ください	p. 1
各部の名称	p. 2
① 水平の取り方 (アジャスター調整)	p. 4
② ドアの調整・取り外し・取り付け	p. 5
③ 棚板の取り外し・取り付け	p. 9
④ 引出しの取り外し・取り付け・調整	p. 11
⑤ ドアボックス 上下分解	p. 14

組み立て前にご確認ください

⚠ 注意

- 製品にキズをつける恐れがありますので、必ず腕時計や指輪等は外して作業を行ってください。

必ず下記の付属工具とパーツがそろっているか、確認してください。

(1) 付属工具の確認



- プラスドライバー
(1セットにつき1本)

(2) 付属パーツの確認



- アジャスター穴キャップ
水平調整が終わりましたら、アジャスター穴をこのキャップでふさぎます。

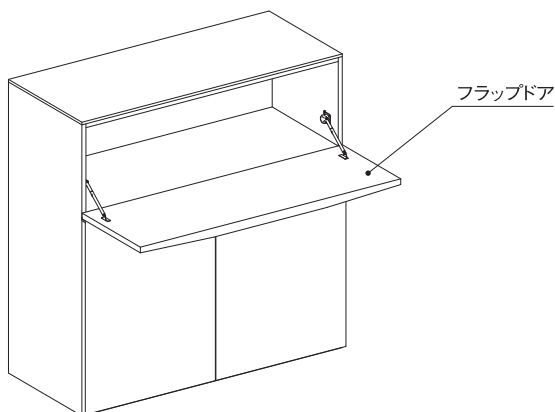
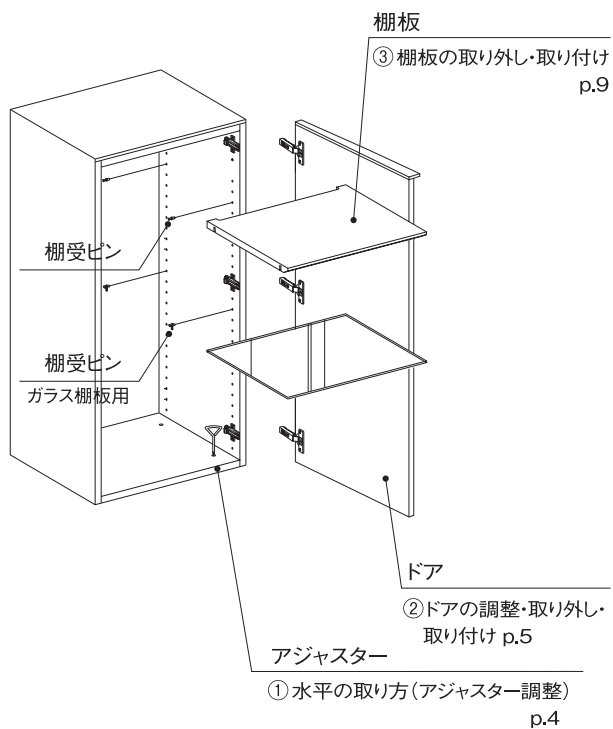


- 棚受ピン [差込タイプ]
棚板の取り付けには、この棚受ピンをユニットに差し込み、棚板をセットして固定します。
(棚板1枚につき4個)

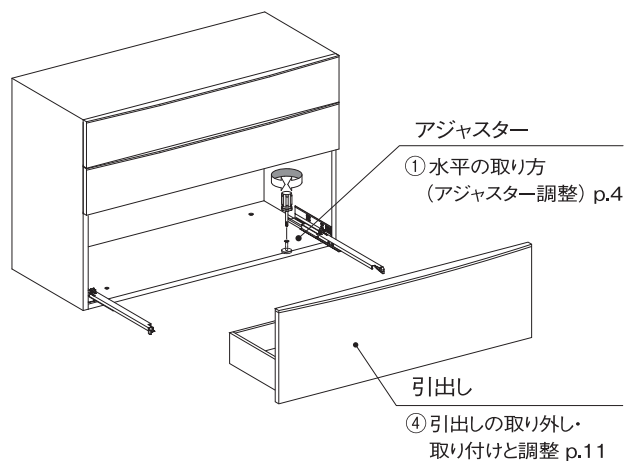


- 棚受ピン [ガラス棚板用]
(ガラス棚板1枚につき4個)

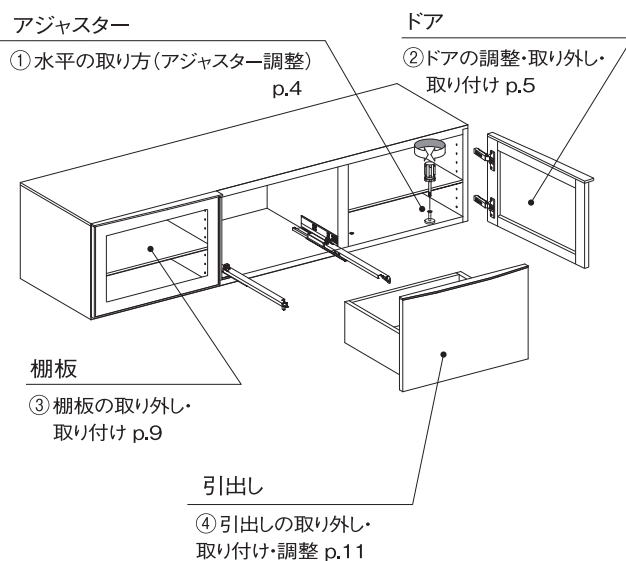
DOOR BOX



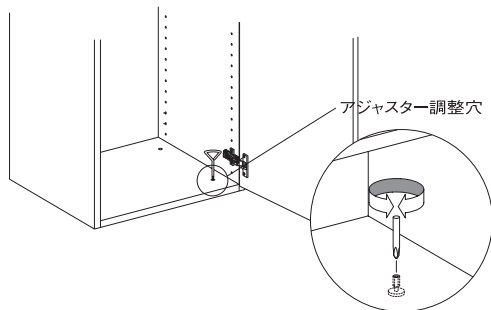
CHEST



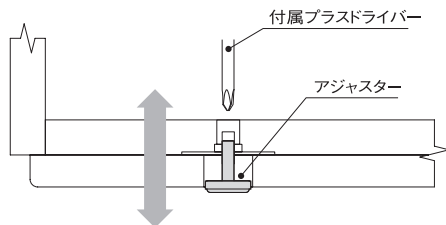
Hi-Fi Series



①水平の取り方(アジャスター調整)



1. ボックスのアジャスターを全ていっぱいまで引き込みます。
(付属ドライバーにて反時計回り)
2. 床とボックスとのすきまを確認します。
3. アジャスターを出して、水平調整をします。



4. ボックスが一番傾いている場所のアジャスターから順番にアジャスターを
まわして、調整をしてください。
5. すべての脚(アジャスター)が接地していることを確認します。
6. 最後にアジャスター穴キャップをセットして完了です。



△注意

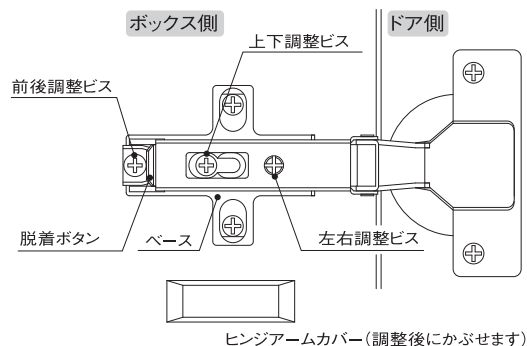
- 引出しボックスの場合は、引出しを取り外してから行ってください。
(p.11 [④引出しの取り外し・取り付け・調整] 参照)
- 接地面が、毛足の長いカーペット等の場合は、重量によりアジャスターが
沈み込みますので、アジャスターは多めに出して調整してください。
- 床の凹凸がはげしいときは、水平器を使用してください。
- アジャスターを出し過ぎると、ボックスから外れてしまいますのでご注意ください。

②ドアの調整・取り外し・取り付け

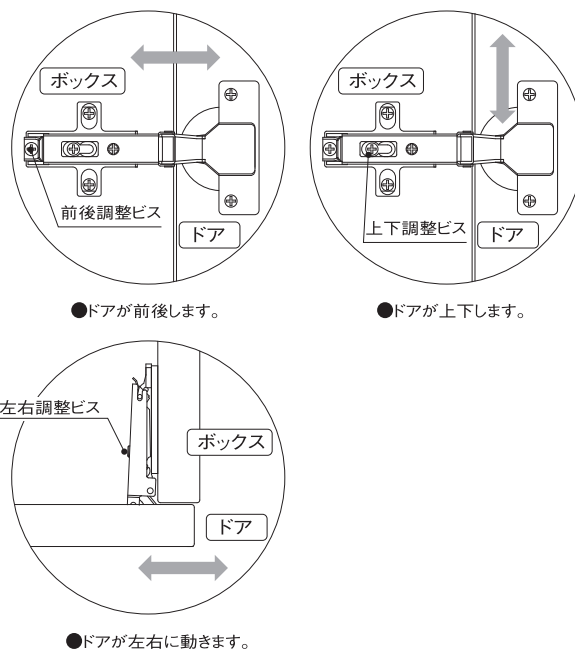
△注意

- 水平調整ができていない場合ボックスがねじれて、正しくドアの調整が
できません。(p.4 [①水平の取り方(アジャスター調整)] 参照)
- ドアのねじれ、反りにつながりますので、ドアのヒンジ調整は確実に行って
ください。

(1) ヒンジ

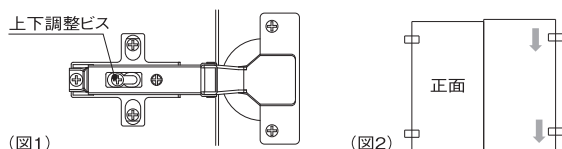


(2) ヒンジの機能



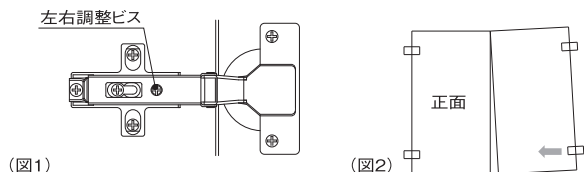
(3) ヒンジ調整例

〈ドアの上下がずれている場合〉



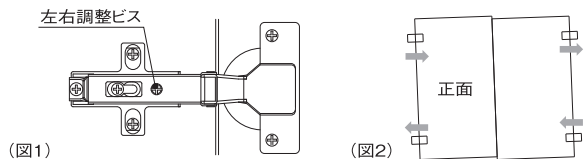
1. 上がってしまっているドアのヒンジを確認してください。
 2. ヒンジの上下調整ビス(図1)を回します。
 3. ビスを回すとドアを上げ下げすることができます。
- ※ヒンジが片側2つ以上ある場合は、上下のどちらかから、平均に少しずつ調整ネジを回してください。
- ※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

〈ドアが傾いている場合〉



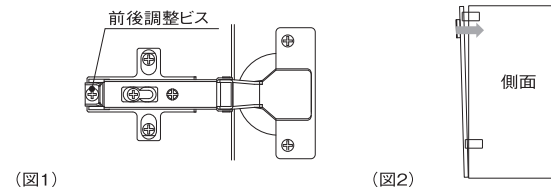
1. 傾いてしまっているドアのヒンジを確認してください。
 2. 左右調整ビス(図1)を回しての矢印の方向にドアを調整します。(図2)
 3. 再度全体を確認して、必要であれば上のヒンジも同じように調整してください。
- ※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

〈両方のドアが傾いている場合〉



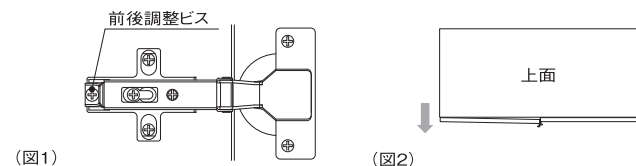
1. 左側ドアヒンジの左右調整ビス(図1)を回し、(図2)の矢印の方向に調整します。
 2. 右側のドアも、左のドアを基準に上下のヒンジを調整してください。
 3. 両ドアの調整後、全体を確認し、中心にすき間が大きく開いてしまった場合、再度左右調整ビスで、ドアを均等に中心に向けて調整してください。
- ※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

〈ドアが前に飛び出している場合〉



1. ヒンジの前後調整ビス(図1)を回し、ドアを(図2)の矢印の方向へ押し込んでください。
 2. 最適な位置で前後調整ビスを確実に締め込んでください。
(ボックスとドアのすき間は、1～1.5mmくらいが最適です。)
 3. 位置決め後、再度全体をチェックして、必要であれば、下のヒンジについても同じ調整を行ってください。
- ※ヒンジが片側3つ以上ある場合は、間のヒンジに無理のないよう、上下調整量にあわせて調整してください。

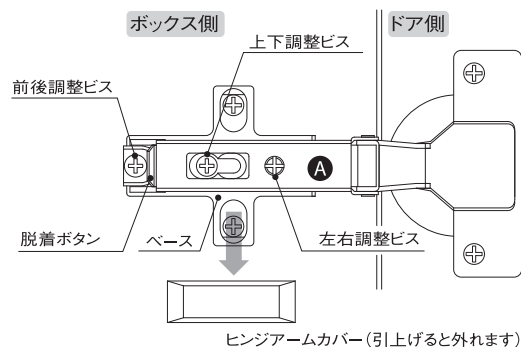
〈ドアがきちんと閉まらない場合〉



1. ヒンジの前後調整ビス(図1)をゆるめ、ドア側面をみて、ボックスとドアのすき間を調整します。

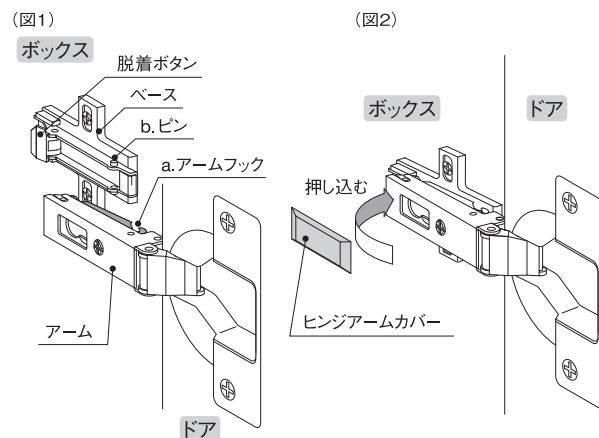
(4) ドアの取り外し

ドアはヒンジごと取り外します。



1. ヒンジアームカバーを外します。
2. ドアを支え、脱着ボタンを押しながら、図のA部分を押し込むとヒンジのロックが外れ、ドアが取り外せます。
3. うまく外せない場合は、左右調整ビスをいっぱいまで閉め込んでから再度脱着ボタンを押してください。

(5) ドアの取り付け



1. アームのフックaをベースのピンbにかけます。(図1)
2. アームの端をカチッと音がするまで押し込みます。(図2)
3. 取り付け後、ドアの調整を行ってください。(p.5[②ドアの調整・取り外し・取り付け]参照)
4. 最後にアームカバーを取り付けます。(図2)

③ 棚板の取り外し・取り付け

△注意

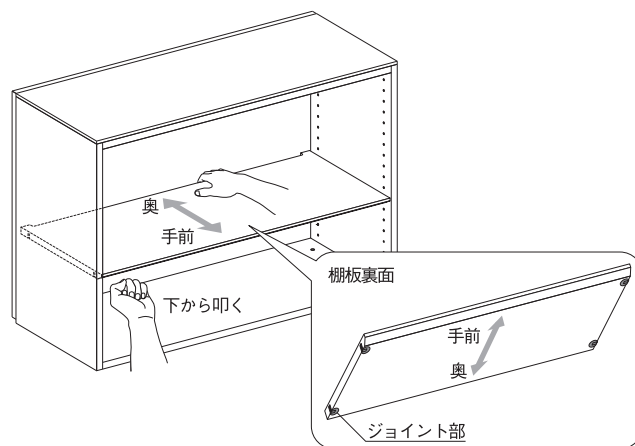
- ドアにキズをつけないよう、予めドアを外しておきます。(p8参照)
- 棚板類は、ドアヒンジがある位置には、取り付けることはできません。

(1) 化粧板棚板・塗装棚板

〈取り外し〉

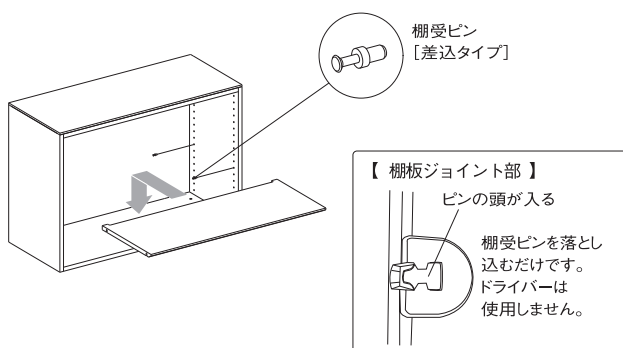
棚板は、裏面の四隅についているジョイント部(下図)で固定されています。このジョイント部付近を下から叩くと固定を解除できます。

1. まず棚板奥側の左右2か所にあるジョイント部を1か所ずつ解除します。
このとき棚板が跳ね上がらないよう、もう一方の手で棚板の奥側を支え、再び固定されないように、そのまま奥側を軽く持ち上げておきます。
2. 次に手前側の左右2か所のジョイント部も1か所ずつ解除します。
3. 全てのジョイント部を解除したら、棚板を傾けないよう注意しながら垂直に持ち上げ、手前に引き抜いて完了です。

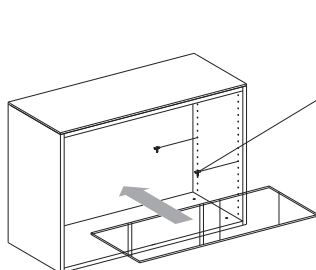


〈取り付け〉

- 1.棚板を取り付けたい高さの下穴に、棚受ピン[差込タイプ]を差し込みます。
- 2.棚受ピンとジョイント部がかみ合うように、棚板を棚受ピンの上から図のように落とし込みます。
- 3.棚板の四隅で“カチッ”という手ごたえがあるまで上から押して完了です。



(3) ガラス棚板の取り付け

- 
- 1.棚板を取り付けたい高さの下穴に棚受ピン[ガラス棚板用]を差し込みます。
 - 2.静かにガラス棚板を棚受ピンの平面部分に乗せてください。
 - 3.棚受ピン4点にガラスが確実に接していることを確認してから、手を離してください。

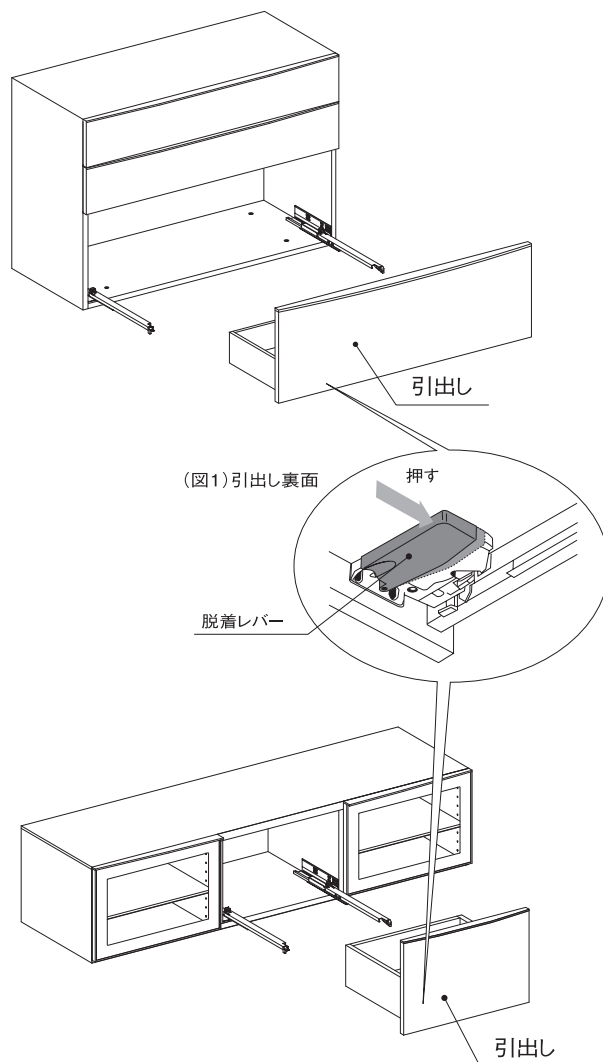


④引出しの取り外し・取り付け・調整

(1) 引出しの取り外し

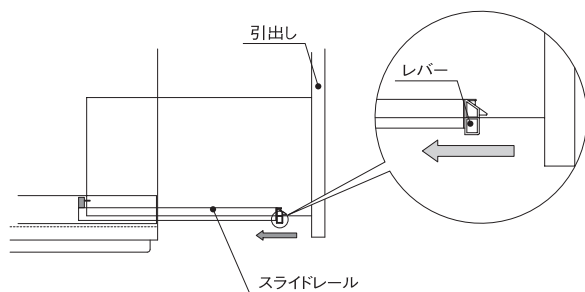
- 1.引出しの中身を出してください。
- 2.引出しを手前いっぱいまで引き出します。
- 3.引出しをささえながら、指先で引出し裏面オレンジ色の脱着レバーを握るとスライドレールと引出しのロックが外れます。(図1)

CHEST



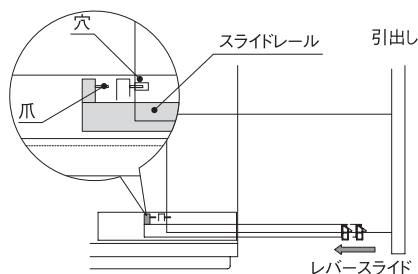
4. 引出し裏面の脱着レバーを握ったまま、図の位置にある白いレバーを矢印の方向にスライドさせます。(図3)

(図3) 引出し側面図



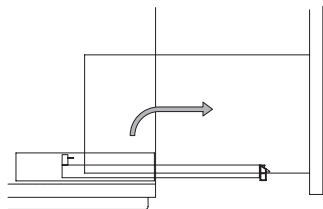
5. レバーを引くことで(図4)のように、引出し奥の爪が引出しから外れ、レールから引出しが外れます。
同じように引出し左右2ヵ所ロックを外してください。

(図4)



6. スライドレールと引出しのロックが外れましたら、矢印のように引出しを持ち上げながら引き抜きます。(図5)

(図5)

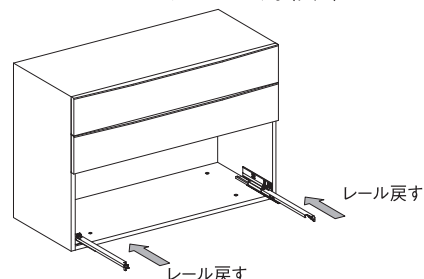


⚠警告

- 危険ですので引出しにもものを入れたまま、引出しの取り外しをしないでください。落下して、けがの原因となります。

(2) 引出しの取り付け

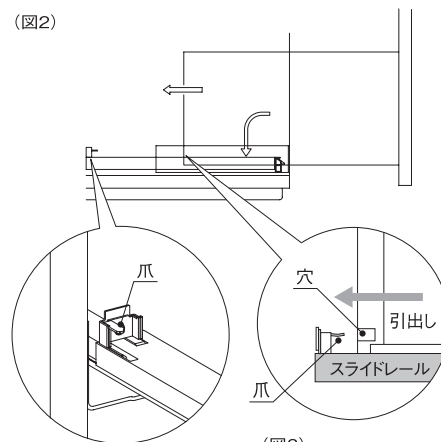
1. スライドレールをあらかじめめまっておきます。(図1)



2. 引出しの取り外しと逆の手順でレールに引出しをのせ、そのままレールに沿って引出しを押し込みます。(図2)

その際、引出し後部の穴にレールの爪を差し込みます。(図3)
引出しの左右でカチッとロック音がるのを確認して完了です。

(図2)



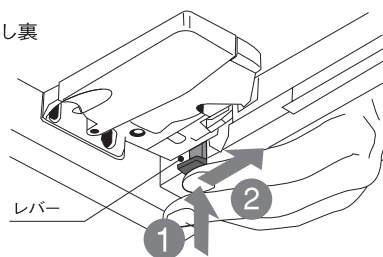
(図3)

(3) 引出しの調整

引出し裏のレバーを図のように動かすと、引出し前板の高さを調整することができます。

引出しの傾きを見ながら、左右それぞれ調整してください。

引出し裏



⑤ドアボックスの上下分解

W.1000 H.1374/1710のドアボックスは上下に分解することができます。

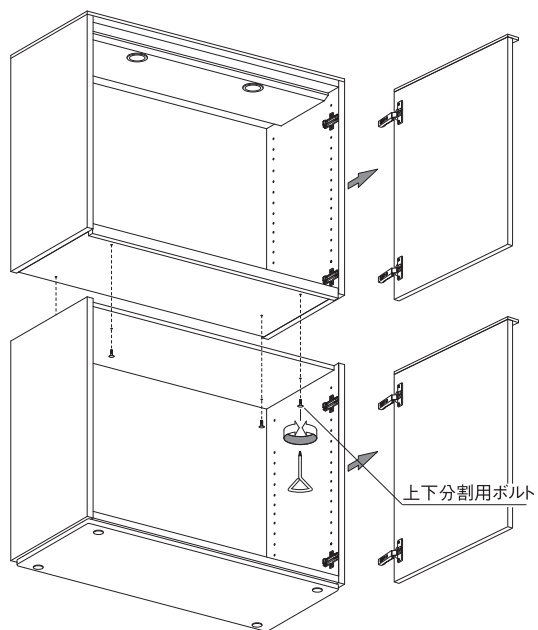
1.扉を取り外します。(p.8参照)

2.棚板を取り外します。(p.9参照)

3.図のように4カ所のボルトを付属のドライバーで外す事により、上下分解することができます。

※下のボックスに内引出しが付いている場合は、内引出しをぬいてからボルトを外して下さい。

※組み立ては逆の手順で行って下さい。



Memo

Memo

Memo